

関西圏在住者から見た
中国地方の観光地の実態と魅力度

報告書

平成 26 年 2 月

中国経済連合会

目 次

1. 調査概要	1
1) 調査目的	1
2) 調査手法及びサンプル数.....	1
3) 観光エリアの設定.....	1
2. 調査結果	3
1) 回答者属性	3
2) 訪問経験	4
3) 満足度	6
4) 交通手段	10
5) 訪問希望地	11
6) 中国地方への旅行.....	14
7) 中国地方の名称	15
8) 中国地方のイメージ.....	16
9) 中国地方の特産品.....	19
10) 周遊ルート	20
3. まとめ	23

1. 調査概要

1) 調査目的

- 中国経済連合会では、首都圏在住者の中国地方の観光地に対する認識や評価について、2008年度、2010年度の2回、「旅フェア」での対面調査を実施しており、加えて2011年度、2012年度にはウェブアンケート調査を実施している。
- 本調査は、隣接大都市圏である関西圏在住者の中国地方の観光地に対する認識及び評価を把握するため、2013年10月に楽天リサーチに委託し、ウェブアンケート調査を実施した。
- 回答者は関西圏（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県）在住者であり、合計で200名である。

2) 調査手法及びサンプル数

- ・実施日 : 2013年10月17日～19日
- ・調査手法 : インターネット調査（楽天リサーチ）により実施
- ・サンプル数 : 関西圏 200件

居住地	サンプル数	構成比(%)
滋賀県	13	6.5
京都府	27	13.5
大阪府	75	37.5
兵庫県	60	30.0
奈良県	20	10.0
和歌山県	5	2.5

3) 観光エリアの設定

- ・既存の調査と同様に、各県の観光動態調査で設定されているエリアをベースとして、観光入込客数の多い観光エリアを中心に、各県10エリア程度を設定した。
- ・観光エリアのイメージや内容をわかりやすくするため、観光エリアの名称だけでなく、そこに含まれる代表的観光資源について3つ程度付記した。

観光エリア及び代表的観光資源

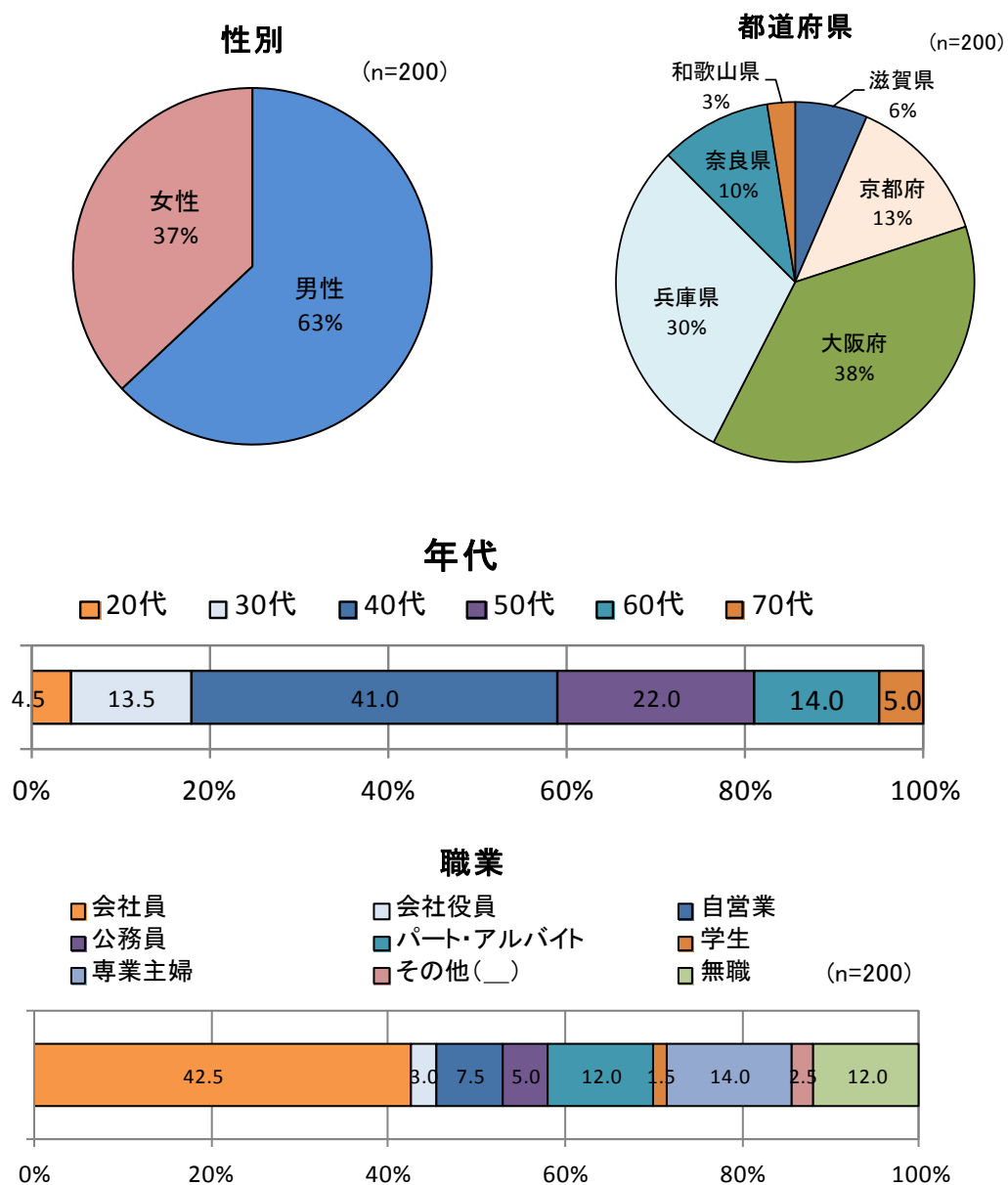
鳥 取 県	1. 鳥取（鳥取砂丘、浦富海岸、仁風閣など）
	2. 智頭（石谷家住宅、若桜鉄道、氷ノ山など）
	3. 倉吉（白壁土蔵の町並み、三徳山三仏寺など）
	4. 三朝温泉
	5. 羽合（羽合温泉、東郷温泉、燕趙園など）
	6. 北栄（コナン通り、青山剛昌ふるさと館など）
	7. 大山（大山、スキー場、植田正治写真美術館、とっとり花回廊など）

	8. 米子 (皆生温泉など)
	9. 境港 (水木しげるロード(記念館)など)
島根県	10. 松江 (松江城、小泉八雲旧居、堀川巡り、宍道湖の夕日など)
	11. 玉造温泉
	12. 出雲 (出雲大社、一畑薬師、島根ワイナリー、日御碕灯台など)
	13. 奥出雲 (鬼の舌震、亀嵩温泉、絲原記念館(たたら製鉄)など)
	14. 安来 (足立美術館、清水寺など)
	15. 石見銀山 (石見銀山、三瓶山、温泉津温泉など)
	16. 浜田 (石見海浜公園、アクアス(水族館)など)
	17. 邑南 (香木の森公園、瑞穂ハイランド(スキー場)など)
	18. 津和野・益田 (太鼓谷稲成神社、安野光雅美術館、雪舟庭園など)
	19. 隠岐 (隠岐国分寺、玉若酢命神社、知夫赤壁など)
岡山県	20. 岡山 (後楽園、岡山城など)
	21. 吉備路 (吉備津神社、備中国分寺など)
	22. 倉敷 (美観地区、大原美術館など)
	23. 児島・玉野 (鷲羽山、瀬戸大橋架橋記念館、下津井、渋川海岸など)
	24. 備前 (閑谷学校、備前焼、日生諸島など)
	25. 牛窓 (牛窓オリーブ園、海水浴場など)
	26. 高梁 (備中松山城、吹屋ふるさと村など)
	27. 津山 (新庄がいせん桜、城東の町並みなど)
	28. 蒜山高原
	29. 美作三湯 (湯原温泉、奥津温泉、湯郷温泉)
広島県	30. 広島 (平和公園、原爆ドーム、お好み村など)
	31. 宮島 (厳島神社、弥山、みやじマリン(水族館)など)
	32. 呉・江田島 (大和ミュージアム、旧海軍兵学校など)
	33. 竹原 (町並み保存地区、大久野島など)
	34. 尾道 (千光寺公園、社寺巡り、映画ロケ地など)
	35. しまなみ海道 (耕三寺、平山郁夫美術館など)
	36. 福山 (鞆の浦、ばら公園、ふくやま美術館など)
	37. 三次・庄原 (三次ワイナリー、帝釈峡、国営備北丘陵公園、奥田元宋・小由女美術館など)
	38. 安芸高田 (土師ダム、神楽門前湯治村など)
	39. 芸北 (三段峡、温井ダム、スキー場など)
山口県	40. 下関 (海峡ゆめタワー、海響館(水族館)、唐戸市場、赤間神宮など)
	41. 山口 (サビエル記念聖堂、湯田温泉、雪舟庭、瑠璃光寺五重塔など)
	42. 秋吉台・秋芳洞
	43. 萩 (松下村塾、松蔭神社、萩博物館など)
	44. 長門 (湯本温泉、青海島、金子みすゞ記念館、角島大橋など)
	45. 宇部・山陽小野田 (ときわ公園、焼野海岸、産業観光など)
	46. 防府 (防府天満宮、周防国分寺、毛利庭園など)
	47. 周南・下松・光 (笠戸島、回天記念館、室積海岸、虹が浜など)
	48. 柳井・周防大島 (白壁の町並み、片添ヶ浜など海水浴場、サザンセットなど)
	49. 岩国 (錦帯橋、岩国城、白蛇、美川ムーバレーなど)

2. 調査結果

1) 回答者属性

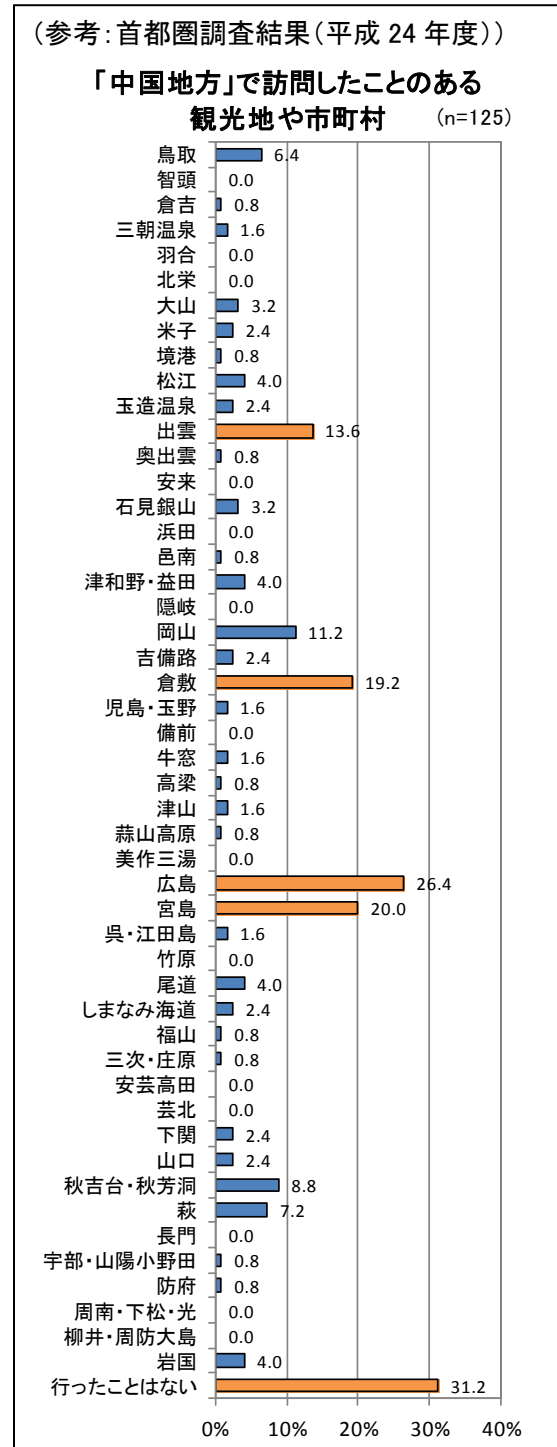
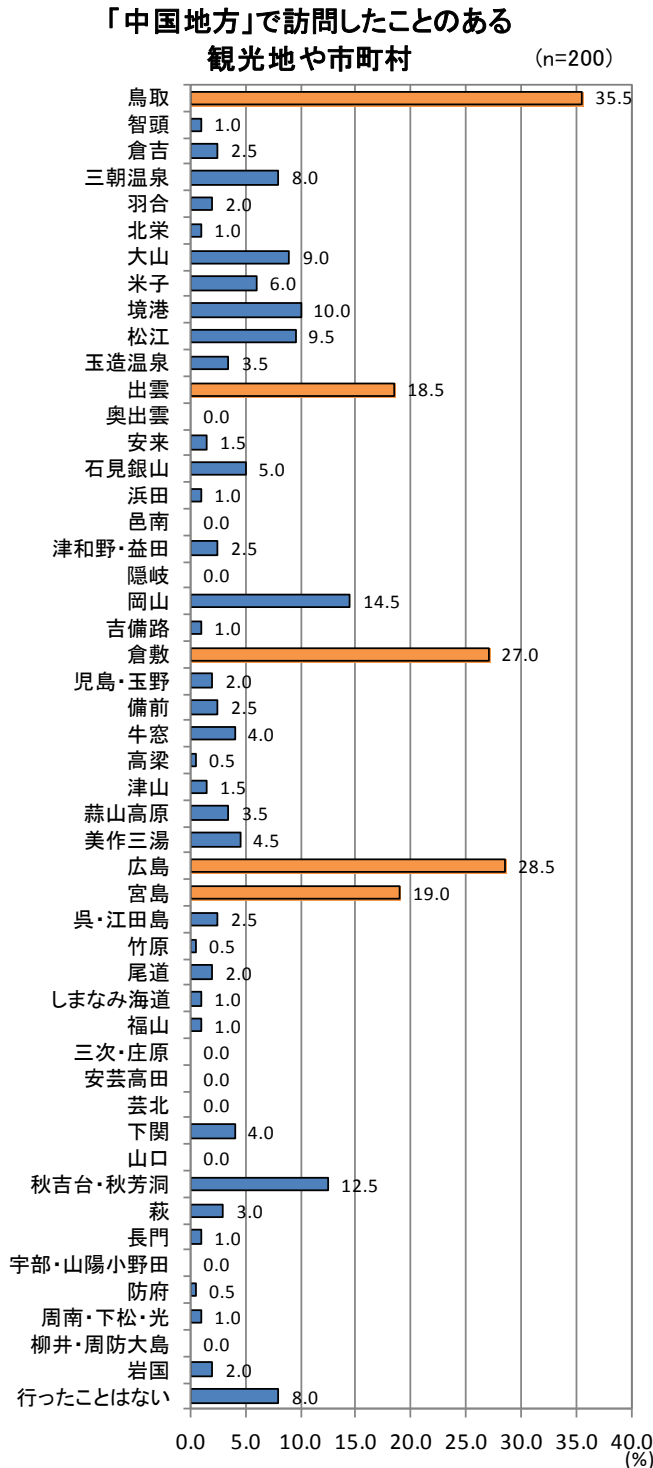
回答者の属性として、性別では男性が63%、年代は40代を中心に40代~60代で全体の77%を占めている。職業は会社員が42.5%と最も多く、次いで専業主婦14.0%、パート・アルバイト及び無職がそれぞれ12.0%となっている。



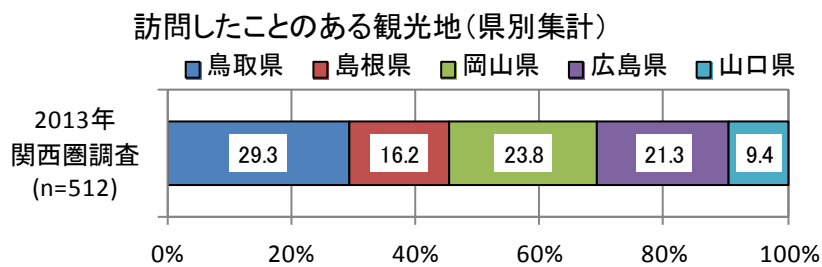
2) 訪問経験

(1) 全体

中国地方を49の観光エリアに分け、訪問したことのある観光地や市町村を3箇所まで聞いたところ、最も訪問した人が多かったのは鳥取であり、次いで広島、倉敷となっている。昨年度実施の首都圏調査結果と比較し、鳥取の訪問経験が非常に大きくなっているほか、中国地方へ行ったことはないと回答した人は8.0%と少なく、中国地方に近接している関西圏の特徴といえる。

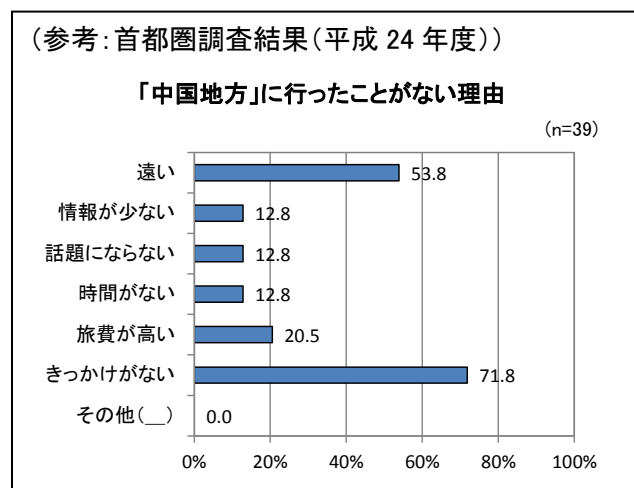
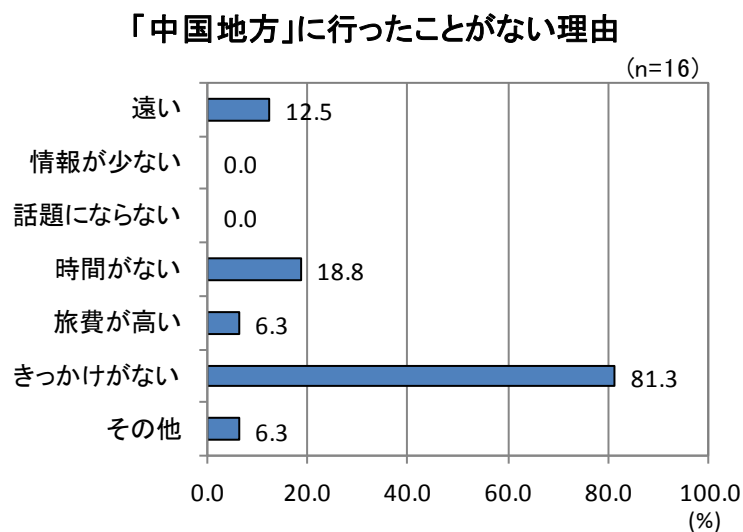


上記の回答を県別に合計したところ、鳥取県が 29.3%と最も多く、ついで岡山県 23.8%、広島県が 21.3%となっている。



(2) 未訪問理由

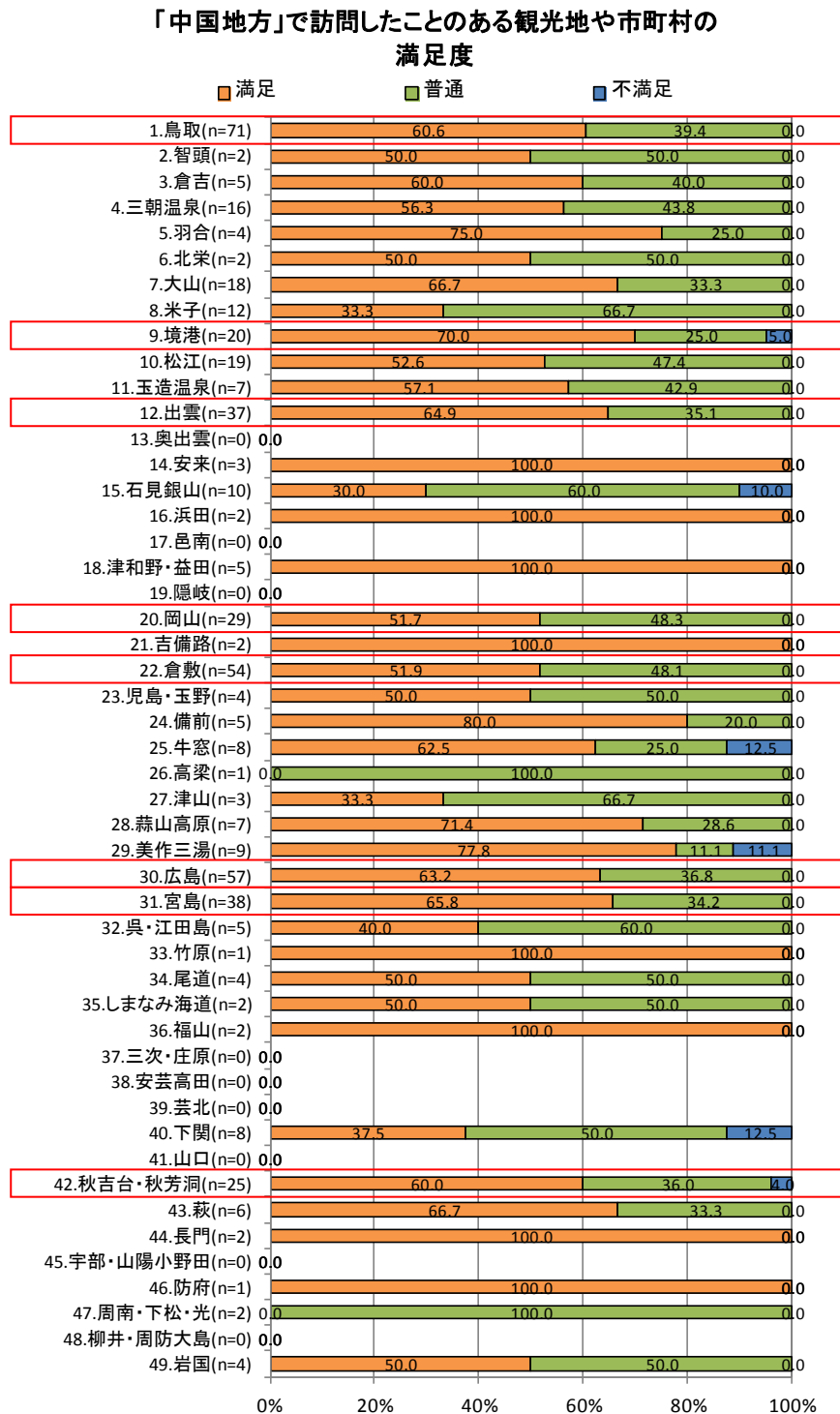
本調査において中国地方に行ったことがない人は 8.0% (16 人) であったが、それらの回答者に対しその理由を聞いたところ、「きっかけがない」との回答が 81.3%と最も多かった。「情報が少ない」、「話題にならない」という回答は無かったことから、情報はあがるが「きっかけ」がないために訪問していない人が多く、「きっかけ」づくりが今後必要になってきている。



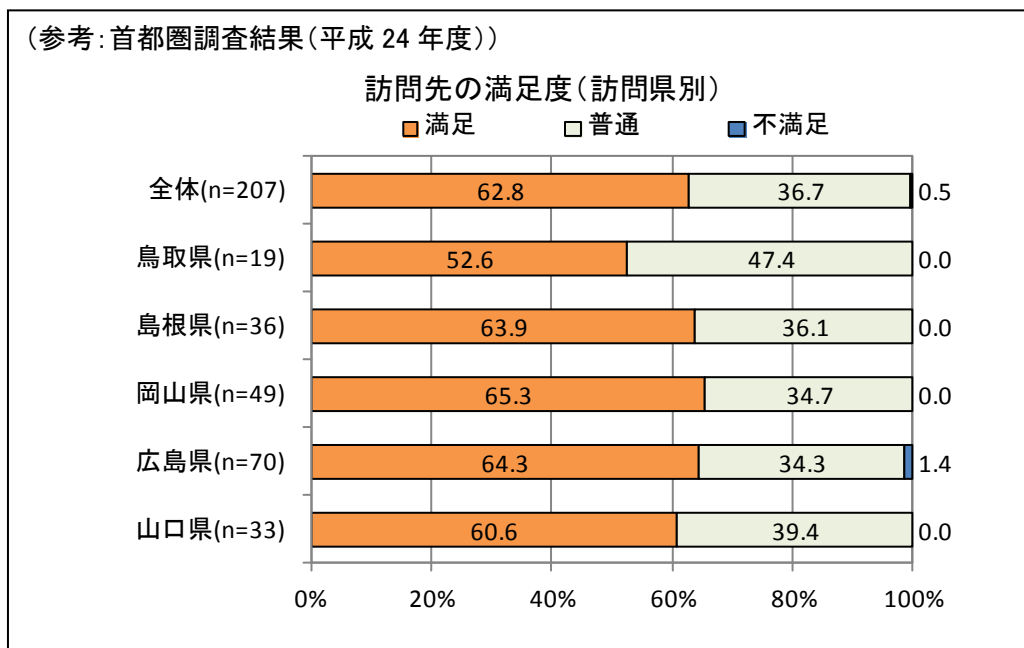
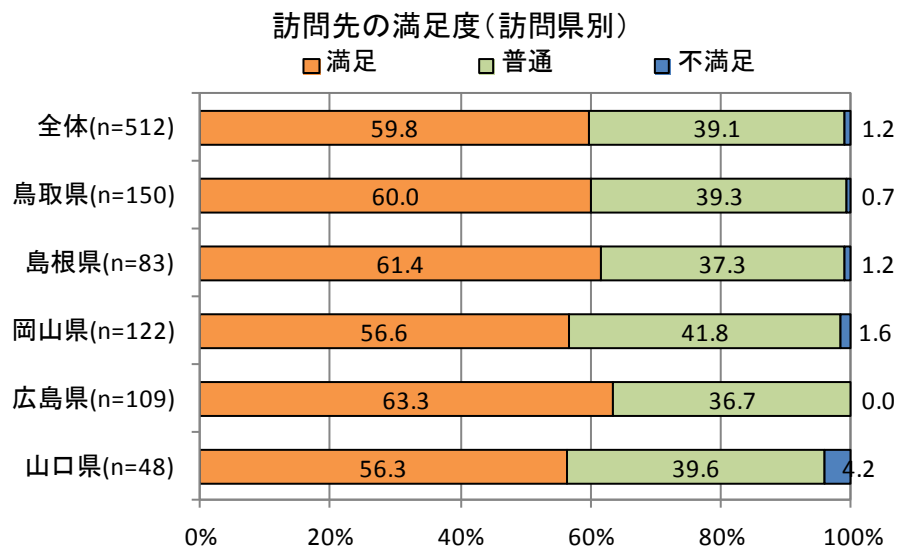
3) 満足度

(1) 全体

訪問したことのある観光地や市町村に対する満足度を聞いたところ、以下のような結果となった。訪問経験者の多い地域（サンプル20名以上、以下赤枠囲み部分）に着目すると、満足度は50%から70%程度であり、概ねよい評価となっている。



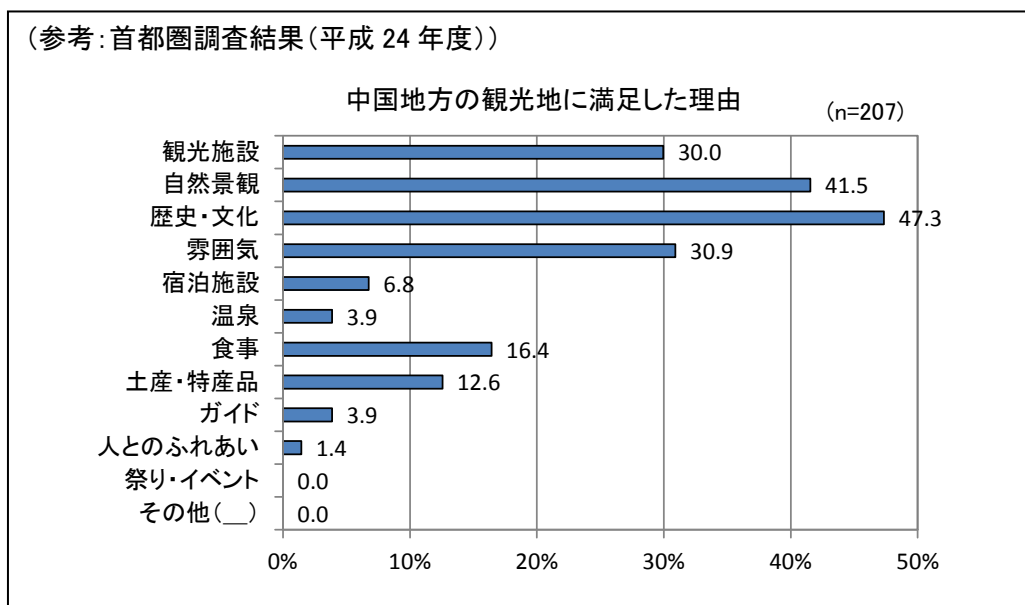
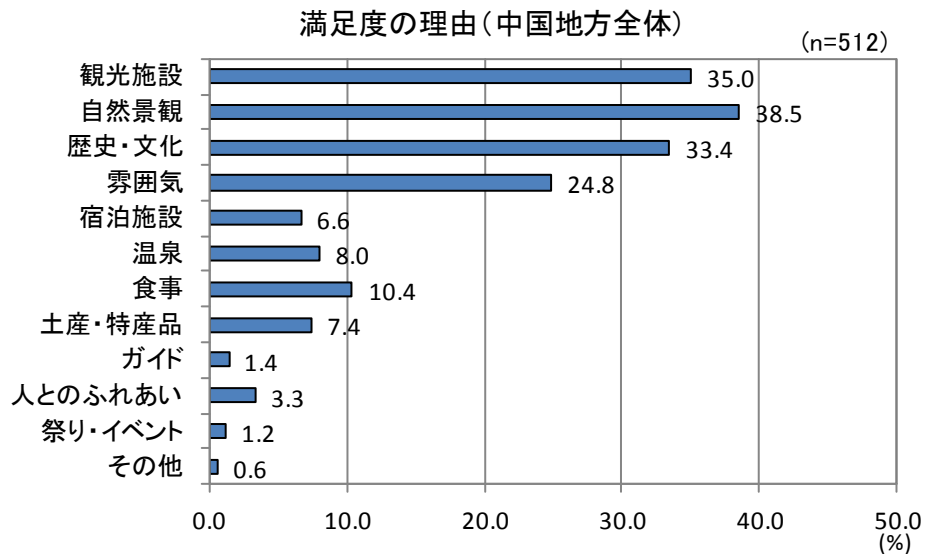
上記の各地の満足度を集計したところ、全体の「満足」は 59.8%と高く、「不満足」は 1.2%と少ない。訪問県別にみると、各県とも「満足」という評価が過半数となっている。



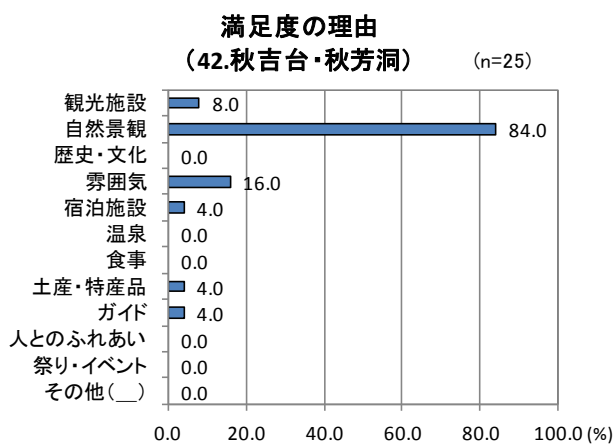
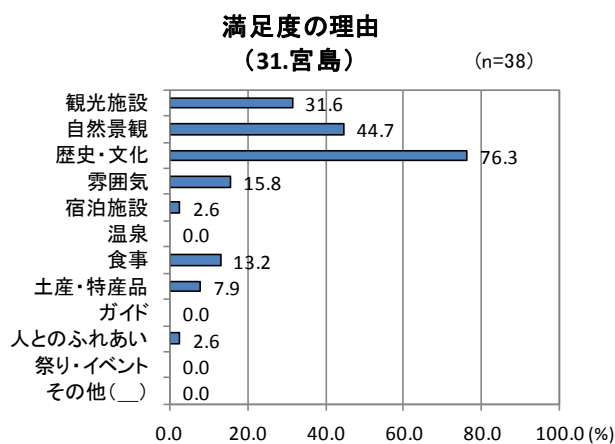
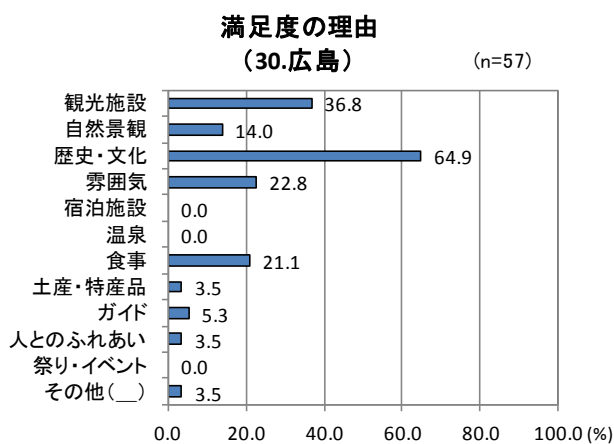
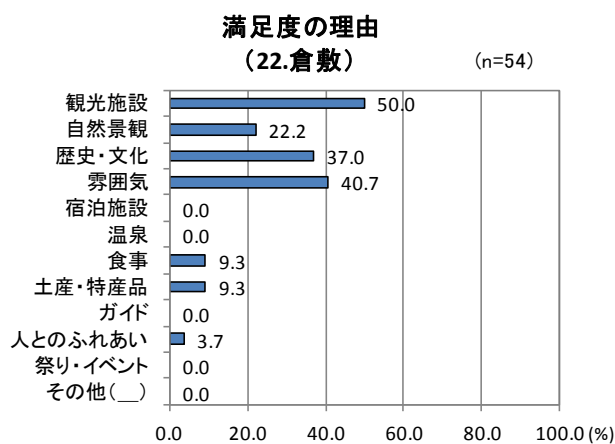
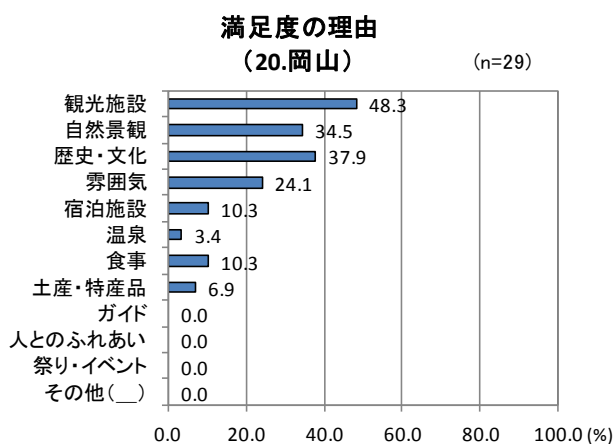
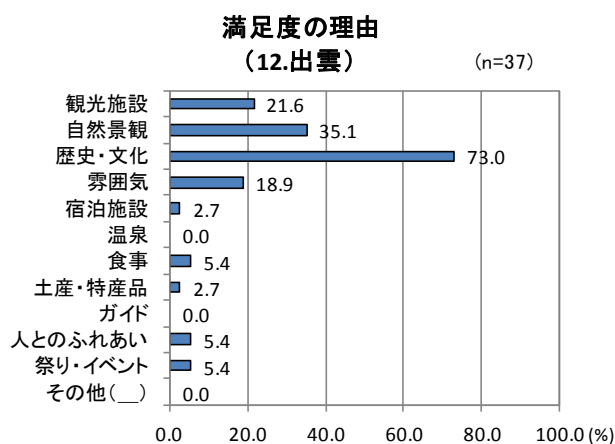
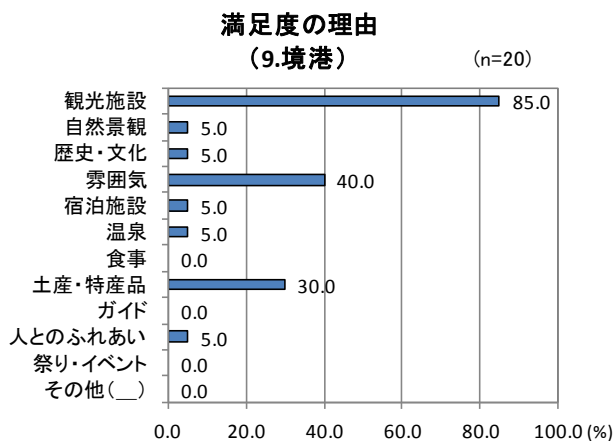
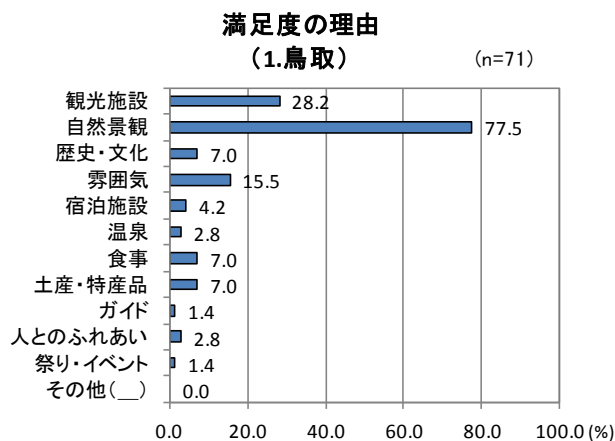
(2) 満足度の理由

前問の満足度の理由をみると、中国地方全体としては「自然景観」が 38.5%と最も高く、ついで「観光施設」が 35.0%、「歴史・文化」が 33.4%となっている。

首都圏調査結果と比較すると、「歴史・文化」が大きく下がっており、中国地方のセールスポイントの最大要素として「自然景観」が挙げられ、次いで観光施設、歴史・文化、雰囲気要素を含め中国地方の観光の魅力が形成されていることがわかる。また、温泉、食事、宿泊施設、ガイドなどの回答は少なく、一層の充実が必要と思われる。

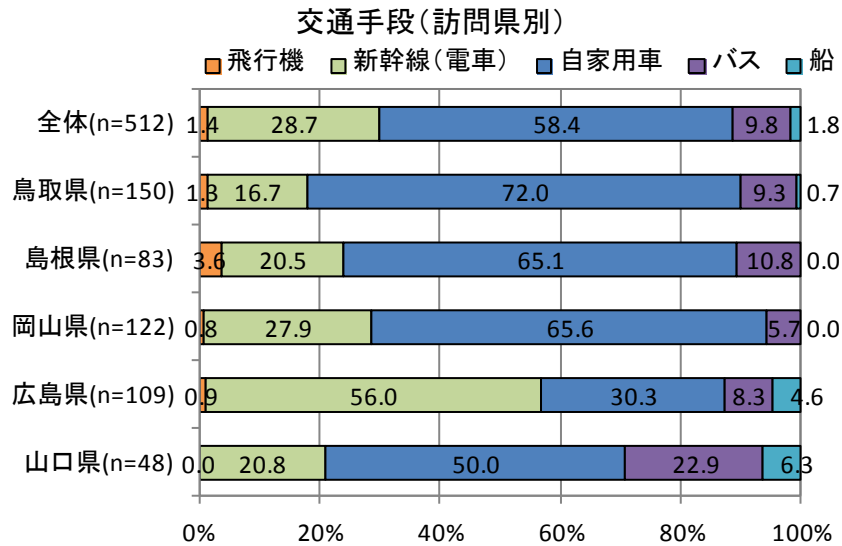


訪問経験者の多い地域(サンプル 20 名以上)について、それぞれ満足度の高い理由は以下のとおりである。鳥取の「自然景観」、境港の「観光施設」、出雲の「歴史・文化」など、各地域の特色が高い満足度を得ている。

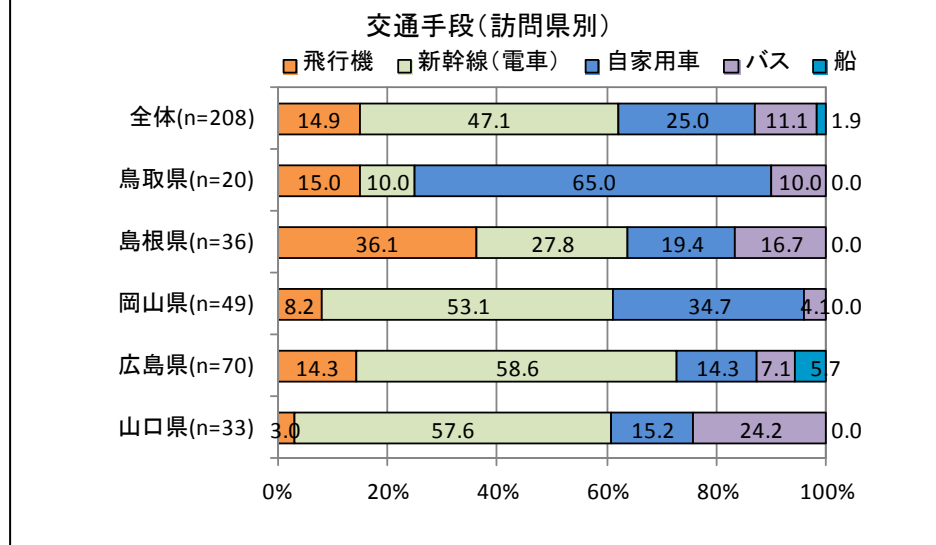


4) 交通手段

中国地方に訪問したことがある人を対象にして、主な交通手段をみると、「自家用車」が58.4%と最も多く、「新幹線(電車)」が28.7%となっている。訪問県別にみると、鳥取県は「自家用車」の割合が72%と高くなっている。



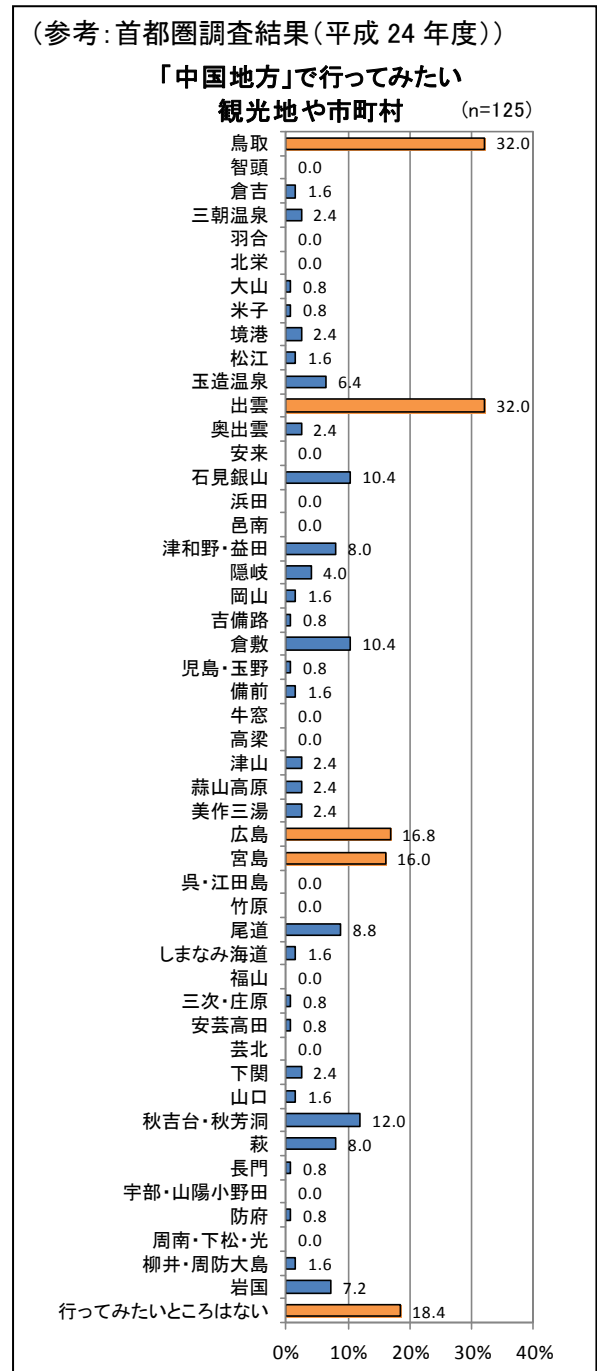
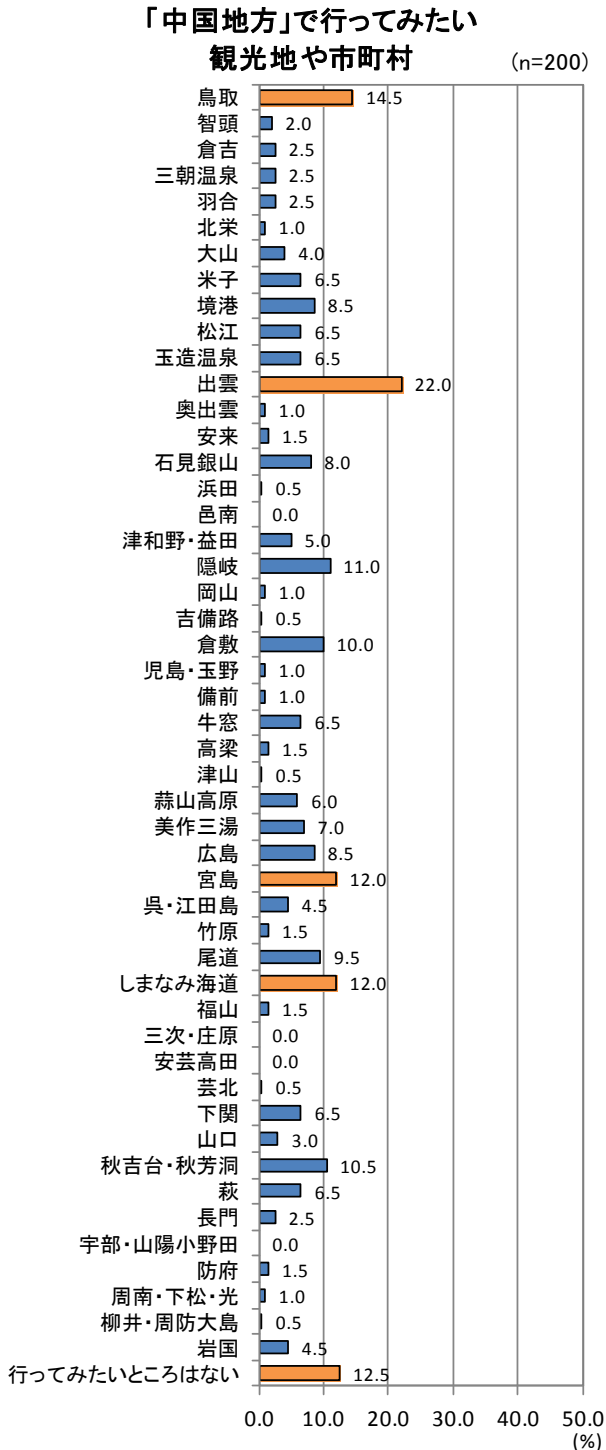
(参考:首都圏調査結果(平成24年度))



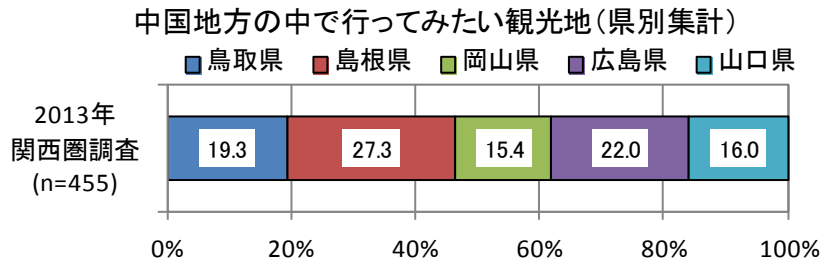
5) 訪問希望地

(1) 全体

中国地方を49の観光エリアに分け、訪問してみたい観光地や市町村を3箇所まで聞いたところ、最も多かったのは出雲であり、22%の人が回答している。次いで鳥取、宮島、しまなみ海道となっている。昨年度の首都圏調査結果と比較すると、鳥取、出雲、広島、宮島は下回っている一方、米子、境港、松江、隠岐、牛窓、美作三湯、呉・江田島、しまなみ海道、下関は4～10ポイント程度上回っており、関西圏の認知度が高い地域といえる。

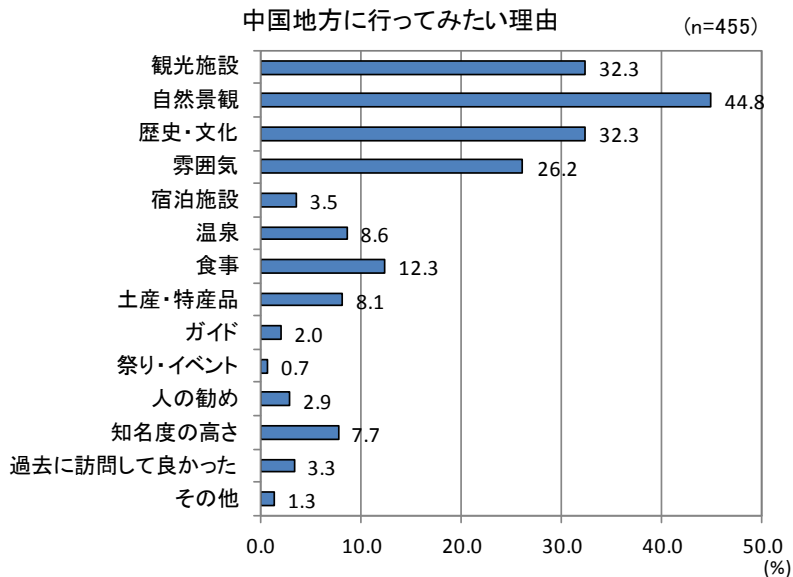


上記の回答を県別に合計したところ、島根県が 27.3%と最も多く、ついで広島県 22.0%、鳥取県 19.3%となっており、山陰地方への訪問希望が高くなっている。

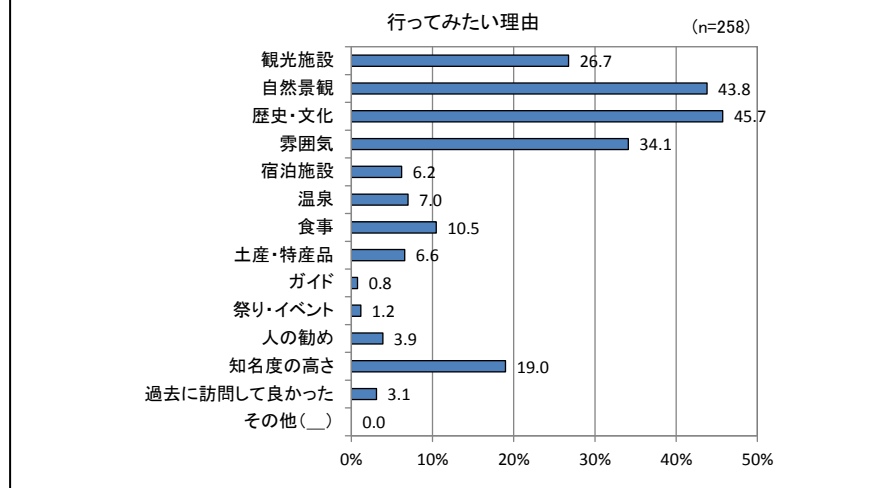


(2) 訪問希望の理由

中国地方の各観光地(県)に行ってみたい理由としては「自然景観」が 44.8%と最も多くなっている。訪問希望理由の上位4項目は、前述の満足度の上位4項目と同一であり、「自然景観」を中心とする4要素が中国地方の観光の魅力とイメージを形成しているといえる。



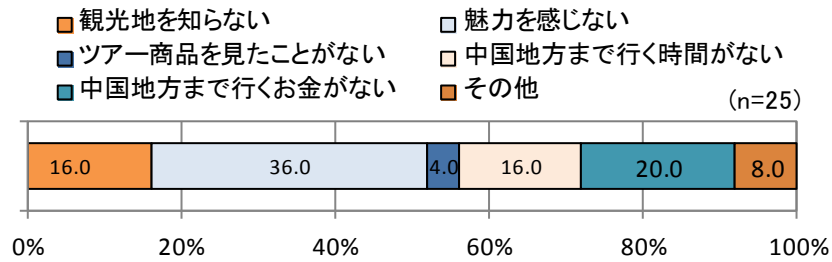
(参考: 首都圏調査結果(平成 24 年度))



(3) 訪問希望が無い理由

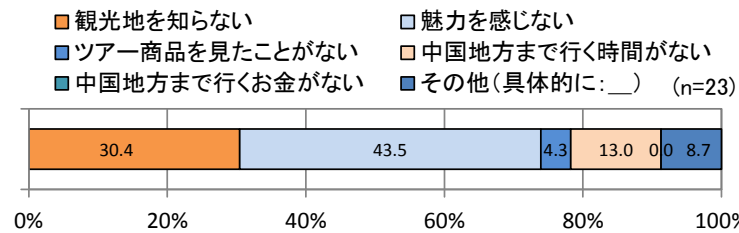
「行ってみたいところがない」と回答した人に対し、その理由を聞いたところ、「魅力を感じない」という回答が最も多く、次いで「お金が無い」が多かった。昨年度の首都圏調査結果と比較して、「知らない」という回答は半減したものの、中国地方各地の魅力のPRが不可欠となっている。

「中国地方」の観光地や市町村に行ってみたくところがない理由



(参考: 首都圏調査結果(平成 24 年度))

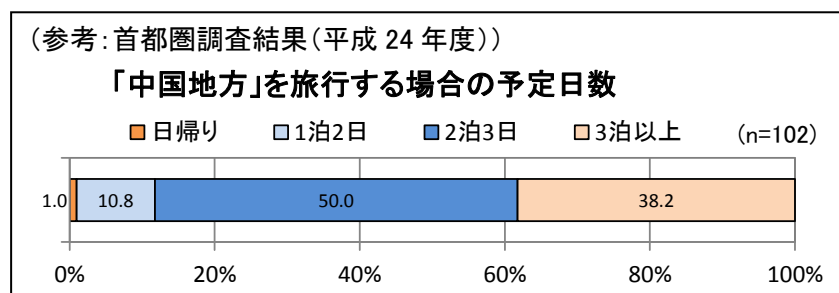
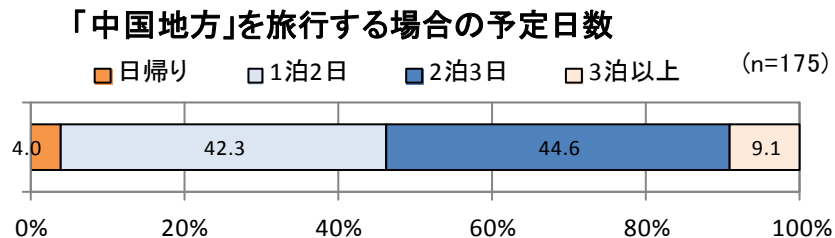
「中国地方」の観光地や市町村に行ってみたくところがない理由



6) 中国地方への旅行

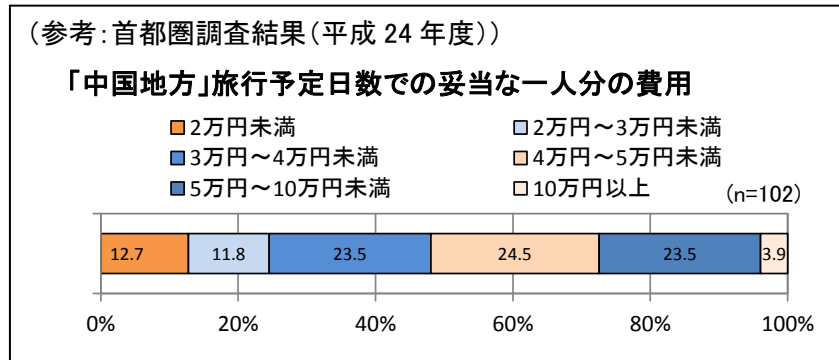
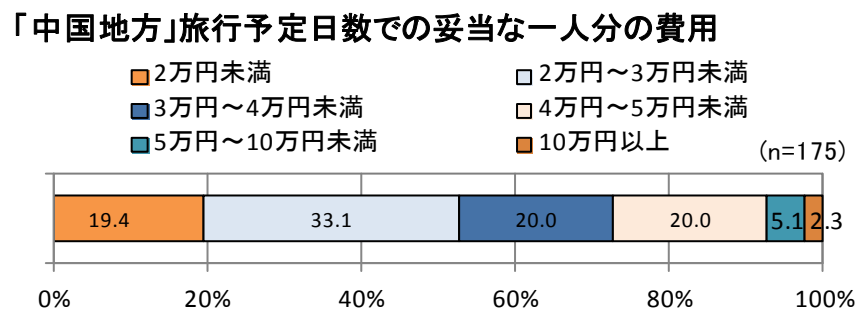
(1) 予定日数

中国地方を旅行する場合の予定日数は、「2泊3日」及び「1泊2日」がそれぞれ全体の40%以上を占めている。



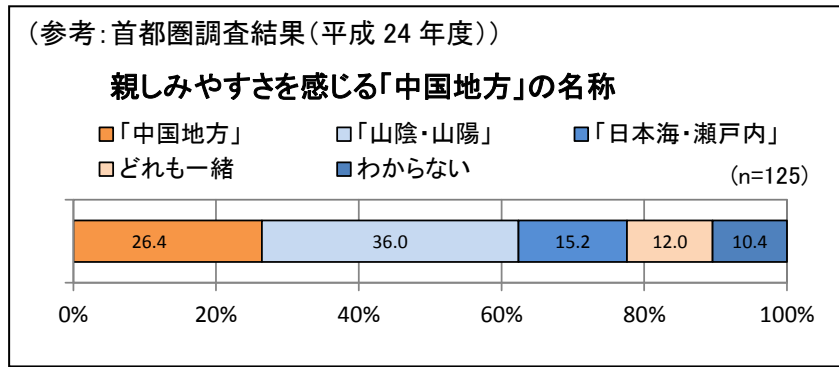
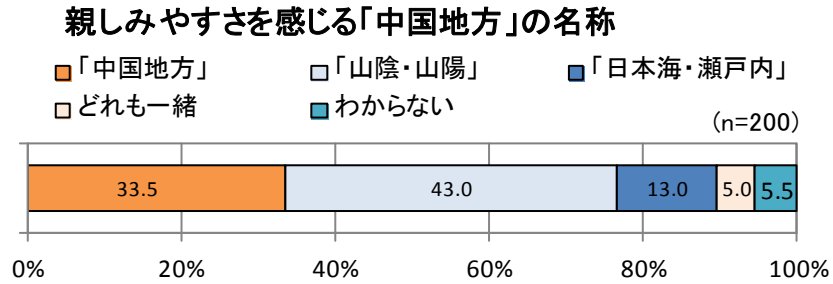
(2) 費用

中国地方を旅行する場合の費用は、「2～3万円」が 33.1%で最も多くなっているほか、2万円未満、3～4万円、4～5万円がそれぞれ 20%前後となっており、交通手段や日程等により旅行費用に差が生じていると思われる。



7) 中国地方の名称

親しみやすさを感じる「中国地方」の名称を聞いたところ「山陰・山陽」が最も多く、43%を占めている。昨年度の首都圏調査結果と比較すると「山陰・山陽」、「中国地方」の2つに親しみやすさを感じる割合が強まっている。



8) 中国地方のイメージ

中国地方のイメージについて自由に記載して頂いたところ、自然が多いイメージが多く、その他、歴史がある、食べ物が美味しいなどの記載が多かった。

<自然が多いイメージ（自然が豊富・海がきれい等）>

自然	男性	40代
自然、田舎、ゆったり	女性	20代
自然がいい	男性	70代
自然がいっぱい	女性	40代
自然が残る	女性	40代
自然が沢山	女性	60代
自然が豊	男性	50代
自然が豊か	男性	50代
自然が豊か	男性	50代
自然が豊か	男性	40代
自然が豊富にある	男性	60代
自然が良い	男性	50代
自然景観がすばらしい	男性	40代
自然景観や歴史的なものなど魅力がある	男性	60代
自然体が多い きれい	女性	40代
自然豊か	女性	40代
自然豊か	男性	40代
自然豊か	女性	30代
自然がいっぱい	女性	50代
自然が豊富	男性	40代
海がきれい	男性	40代
海がきれい	男性	50代
海がきれい。	男性	30代
海が綺麗	男性	30代
海が綺麗	男性	50代
海がきれい	女性	50代
海を臨む景色がきれい。	男性	60代
海岸線がすばらしい	男性	70代
瀬戸内	女性	60代
瀬戸内と日本海のコントラスト	男性	50代
瀬戸内海	男性	40代
山、海、自然、雪	男性	50代
景色が良い。	男性	40代
山が綺麗	男性	40代
山が綺麗	男性	50代
美しい景色がたくさんある	男性	40代

東日本にはない観光自然がある	男性	60代
風光明媚	男性	30代

<歴史的なイメージ>

歴史	女性	50代
歴史	男性	30代
歴史がある	女性	40代
歴史がある	男性	40代
歴史と自然環境。	男性	70代
歴史のある場所が多い	男性	40代
歴史を感じる。	女性	50代
歴史的と厳格さと優しさを持ち合わせているイメージがあある	女性	30代
歴史的な観光地	女性	70代
歴史的建造物と自然景観の素晴らしさ	男性	60代
歴史的要素など	女性	50代

<食に関するイメージ>

魚がおいしい	女性	30代
魚が美味しい、自然とのふれあい	男性	50代
海の幸	男性	50代
海の幸が豊富	女性	40代
魚介類がおいしそう	男性	40代
地元食事が新鮮	男性	40代
食べ物がおいしい	男性	20代
食べ物がおいしい	女性	50代
食事がおいしい	男性	60代
美味しいものが多い	女性	40代
料理が美味しい。	女性	60代
料理が美味しそう	女性	30代

<その他の良いイメージ>

温泉がいい	男性	60代
温泉がよさそう	女性	60代
温泉が多くて良さそう	女性	50代
気候がおだやかで暮らしやすい	男性	40代
気候が穏やか。	女性	60代
気候温暖	男性	60代
瀬戸内の穏やかな気候	男性	60代
観光箇所が多い	男性	40代
観光名所が多すぎる	女性	40代
名所が多い。	男性	40代
人が温かい。	女性	30代
のんびりしている	女性	30代
穏やか	男性	40代
明るく気候が穏やか	男性	50代

ゆったり過ごせそう	女性	30代
静かでゆったりした気持ちで旅が出来る。文化の香りが高い。	男性	70代
とても広い	男性	40代
広い	女性	40代
土地が広くて、気候も様々。	男性	50代
こじんまり	女性	50代
素朴さがある	男性	60代
落ち着きがある	男性	50代
すがすがしさがいい	女性	50代
景観・歴史・文化等見どころがたくさんある	女性	40代
岡山・広島・鳥取・島根・山口それぞれ風土歴史・瀬戸内海と日本海、違った風景が見れる	男性	70代
瀬戸内側と日本海側では異なると思うので難しいです。お酒が美味しい。	男性	60代
それぞれ特色がある。一概には言えない。敢えて言うなら瀬戸内海。	男性	60代
山陰と山陽のそれぞれに魅力がある	男性	40代
山陰地方では蟹が旨い上、荒々しい日本海が好きだ。瀬戸内海地方は新幹線など交通の便が良いし、又海の幸が美味しい。広島・岡山は食事が洗練されている。	男性	60代
表立って観光地としてのアピールを見ることは少ないが、歴史や自然、温泉など隠れた名所がありそう	女性	20代
山陽山陰の響き	男性	40代
見所がけっこうあった	女性	30代
町並みがきれい	女性	50代
近畿から近い	男性	40代
近畿圏から行きやすい	女性	40代
車で行きやすい	男性	40代
近い割に観光気分が味わえる	男性	40代
冬雪がすごい	男性	30代
いなかの風景が多い	女性	40代
田舎	男性	40代
田舎	男性	40代
田舎	女性	40代
田舎でのどか。	男性	50代
都会化されていない	男性	50代

<その他のあまり良くないイメージ>

近いが、行く機会がない。	男性	40代
近いけどなかなか行かない(行けない)ところ	男性	50代
身近だが行かない	男性	40代
インパクトにかけています。	女性	60代
派手さがない。	女性	60代
地味	男性	40代
地味	男性	40代

地味	男性	30代
地味なイメージ	男性	40代
地味。食事・観光地・温泉と意外と色々あるし、交通手段もあるけどイメージのせいか長野や岐阜、和歌山など近畿より右側に行きたくなる傾向あり。	女性	40代
自然は豊かだが田舎くさいイメージがある	女性	50代
いなか。。	男性	20代
暗いイメージ有ります。	女性	60代
暗い	女性	50代
暗いイメージ	女性	60代
移動距離が長い	女性	30代
交通が不便	男性	30代
交通の便が悪い	男性	40代
交通の便が悪い	女性	40代
高速料金が高い	男性	40代
鳥取県と島根県の区別がつかない	女性	30代
やや寒い	男性	40代
雨が多い	女性	50代
どうしても見落としてしまいそうな観光地。計画をたてると東か九州となってしまう場所。車が無ければ大変。	男性	50代
関東に比べるとマイナーかも	女性	50代
見どころが少ない	男性	50代
あまりない	男性	40代
関心がない	男性	70代
ない	女性	40代
とくにない	男性	60代
特にない	男性	60代
特にない	男性	40代
特になし	男性	70代

9) 中国地方の特産品

中国地方の特産品について思い付くものを3つまで記載して頂いたところ、もみじ饅頭、牡蠣、梨、ふぐが多く、首都圏調査結果に比べ鳥取県の梨のイメージが強くなっている。

(参考:首都圏調査結果)

もみじ饅頭	45	牡蠣	24
牡蠣	35	もみじ饅頭	19
梨(二十世紀梨、鳥取の梨)	25	ふぐ	15
ふぐ	24	お好み焼き(広島焼き)	15
もも	19	きび団子	11
きび団子	18	桃	10
お好み焼き(広島焼き)	14	マスカット・ぶどう	8
マスカット・ぶどう	11	梨(二十世紀梨、鳥取の梨)	4

10) 周遊ルート

中国地方を旅行する場合、周遊したいと思われるルートについて自由記述をしてもらったものを、起点となる県別に整理した。広島県や岡山県を起点するルートを回答した人が多く、周遊ルートとして中国地方全県を巡るという回答よりも2県程度を周遊するという回答が多くなっている。

起点	ルート	自由記述内容
鳥取起点 8 全県1 4県2 3県0 2県4 1県1	中国地方一周(全県)	山陰の県から山口県、次に瀬戸内に入り大阪に帰る方が、風情がある。
	鳥取→島根→山口→広島	鳥取→出雲→萩→山口→呉
	鳥取→島根→広島→岡山	城崎→鳥取砂漠→出雲大社→厳島神社→岡山→大阪
	鳥取→島根	鳥取→松江→出雲
		鳥取砂丘、隠岐の島、対馬。
		倉吉→宍道湖→温泉津
		三朝温泉→隠岐島
島根起点 14 全県0 4県1 3県3 2県8 1県2	鳥取県内	米子→境港
	島根→山口→広島→岡山	松江→石見→萩→岩国→広島→岡山
	島根→鳥取→岡山	出雲→松江→鳥取砂丘→大山→蒜山
		出雲→松江→米子→倉敷→岡山
	島根→山口→広島	関西から 松江 萩 下関 瀬戸内 回り 広島 大阪へ
	島根→鳥取	出雲の方から鳥取へ
	島根→岡山	出雲大社～足立美術館～石見銀山～蒜山高原
	島根→山口	松江→石見銀山→萩・津和野
		松江→出雲→萩→下関
		出雲→津和野→萩
		出雲→萩→下関
島根県内	島根 山口 隠岐→玉造温泉→下関	
	松江→温泉津	
	出雲→隠岐島	
岡山起点 20 全県3 4県1 3県8 2県6 1県2	中国地方一周(全県)	岡山→牛窓→倉敷→宮島→岩国→下関→長門→萩→出雲→松江→倉吉→鳥取→津山→岡山
		倉敷→呉→下関→萩→出雲→鳥取
		備前→倉敷→尾道→広島→萩→出雲→倉吉
	岡山→島根→山口→広島	岡山→松江→萩→広島
	岡山→鳥取→島根	岡山→米子→益田→石見銀山
		蒜山→大山→宍道湖
	岡山→広島→島根	倉敷→鞆の浦→石見銀山
	岡山→広島→山口	岡山→宮島→山口
		岡山→呉→広島→光→下関
		倉敷→尾道→宮島→広島→下関→萩
		児島→呉→宮島→徳山→下関
		倉敷→福山→広島→徳山
岡山→島根	倉敷→松江→出雲	
岡山→広島	岡山 → 広島 → 愛媛 → 高知 → 香川	
	岡山から広島へ行く	

		倉敷→尾道
		倉敷→尾道→呉
	岡山→広島	岡山→下関
	岡山県内	岡山→倉敷
		岡山→倉敷
広島起点	広島→山口→島根→鳥取	広島→廿日市・宮島→下関→仙崎・萩→出雲→大山→三朝温泉
22		広島→秋芳洞→萩→出雲→大山
		尾道 呉 下関 萩 出雲 松江 米子
全県 0	広島→岡山→鳥取	広島⇒新見⇒米子
4県 3	広島→山口→島根	呉→萩→出雲→松江
3県 3		宮島→萩→出雲
2県 9	広島→島根	広島→出雲
1県 7		三次→江津
	広島→山口	ひろしま 山口
		広島、宮島、岩国、津和野
		広島→岩国→山口
		広島平和公園→宮島→岩国→津和野→萩
		宮島→岩国
		尾道→岩国→萩
		尾道→宮島→萩
	広島県内	広島→宮島
		広島→尾道
		宮島
		宮島
		尾道→しまなみ海道
		福山→尾道→呉→広島
		福山→三原→竹原→呉→広島
山口起点	山口→島根→広島→岡山	下関→長門→萩→益田→温泉津温泉→三次→新見→松江→安来→津山
10	山口→広島→島根→岡山	佐賀→福岡→山口→萩→広島→出雲→松江→倉敷→岡山→高松→高知→松山
	山口→広島→岡山	仙崎→広島→尾道→倉敷
全県 0	山口→島根	防府→長門→益田
4県 2		下関→長門→萩→津和野
3県 1		下関→津和野→松江
2県 4	山口→広島	萩→広島
1県 3	山口県内	山口→長門→下関
		下関
		門司→下関
その他		どこでも
		出来れば、横断するかたちで出来るだけ多くの所を回りたいです。

(参考: 首都圏調査結果)

起点	ルート	自由記述内容
鳥取起点	中国地方一周	鳥取→松江→宍道→津和野→萩→長門→下関→広島→岡山
		山陰の鳥取から出発し、山陽の岡山まで一周するルート
		鳥取→松江→下関→広島→倉敷
	鳥取→島根→岡山	砂丘 出雲大社 倉敷
	鳥取→島根→広島	鳥取砂丘→出雲大社→石見银山→広島原爆ドーム
		鳥取→出雲→広島
		鳥取→島根→広島
鳥取→島根	鳥取→出雲	
島根起点	島根→山口→広島→岡山	出雲→下関→広島→尾道→岡山
	島根→山口→岡山	出雲→萩→備前
	島根→山口	出雲→石見、津和野→萩→秋芳洞
	島根→広島→山口	出雲→広島→下関
岡山起点	中国地方一周	岡山(後樂園・玉野・倉敷)→広島(呉・宮島)→山口(岩国・下関・萩)→島根(出雲・松江)→鳥取(倉吉・三朝温泉)
		倉敷→鳥取→出雲→広島→下関
	岡山→島根→山口	倉敷→津和野→萩
	岡山→広島→山陰	岡山～広島～島根
		岡山→広島→出雲→米子
	岡山→広島→山口	岡山→広島→山口
		神戸→岡山→呉→岩国→萩→長門→下関
		津山 三次 萩
	岡山→山陰	美作→玉造→皆生
	岡山→広島	倉敷→呉
倉敷→尾道→その他		
倉敷・尾道・松山		
倉敷→広島→福岡		
広島起点	広島→山口	宮島→岩国→萩
		広島→下関→唐津→長崎
		尾道→宮島→萩
		尾道→広島→下関
	広島→鳥取	広島→宮島→鳥取
	広島→島根→岡山	広島・出雲・岡山
	広島→岡山	宮島→倉敷
山口起点	山口→広島→鳥取	山口⇒広島⇒鳥取
	山口→島根→鳥取	萩→出雲→鳥取
	山口	津和野→萩
		博多→下関→萩
その他		周遊ではなく一カ所を重点的に観光したい

3. まとめ

(1) 首都圏との違いに着目した活用資源・ターゲットについて

○鳥取県内への訪問率の高さを活かしたリピーターの掘り起こし

中国地方への訪問経験率では、首都圏からは山陽3県が高くなっていたが、関西圏からは鳥取県、岡山県、広島県の順となっており、鳥取県が一番身近な観光地となることがわかる。訪問希望地をみると、首都圏と比べて米子、境港、松江、美作三湯など鳥取県及び周辺地域の訪問希望率が高くなっていることから、関西圏をターゲットとして、鳥取県及びその周辺の温泉や松江・出雲などを組み合わせた情報発信により、鳥取県へのリピーター誘客が期待出来る。

○しまなみ海道への訪問希望率の高さを活かした誘客

中国地方への訪問希望率では、しまなみ海道は首都圏で1.6%であったのに対して、関西圏は12.0%と訪問希望地上位3位に位置しており、関西圏に対して認知度が高まっていることがわかる。一方、しまなみ海道の訪問経験率は1.0%と少ないことから、サイクリングやドライブなどしまなみ海道における楽しみ方について、関西圏をターゲットとしたプロモーションを行うことにより、新たな誘客が期待出来る。

○自家用車での来訪者に向けた広域周遊ルート形成

中国地方を訪れた際の交通手段は広島県では新幹線が過半数となったが、それ以外の県においては自家用車が半数以上を占めており、中国地方全体でみると自家用車利用が約60%となっている。中国横断自動車道尾道松江線の全線開通を間近に控えている中国地方においては、まず、関西からの入り口となる鳥取自動車道のPAや沿線の「道の駅」やガソリンスタンドを手始めに、山陽自動車道、中国自動車道のSA・PA、沿線の「道の駅」における情報提供や、行政・NEXCO西日本等と連携したETC利活用による高速道路等の定額周遊メニューの開発・展開などを通じた周遊性の向上により、山陽・山陰を結ぶ広域周遊ルートの形成が望まれる。

(2) 今後のプロモーションについて

○旅行の「きっかけ」に繋がるような情報発信

中国地方に行ったことがない理由としては、「きっかけがない」という消極的な理由が上位になっている。こうしたことから、情報発信においては、「旅行のきっかけ」に繋がるような情報発信の仕方が求められる。具体的には、周遊キャンペーンや優待、割引などの情報について、関西圏のテレビ・ラジオ・新聞・雑誌などのメディアを招請し中国地方の女子旅、花めぐり、ロケ地めぐり等テーマ毎のコースを周遊してもらい、情報発信するほか、JR大阪駅、JR京都駅、難波駅などの交通拠点や、2014年3月にグランドオープンするあべのハルカスなどの拠点において関西在住者に直接PRするなど中国

地方の観光関係者が実際に汗をかいて認知度を高めていくことが求められる。

○関西圏からの周遊ルートを中心としたプロモーション

関西圏からの周遊ルートとしては、中国地方全県を巡るという回答よりも山陽・山陰それぞれ2県程度を周遊するという回答が多かった。今後のプロモーションの内容として、(1)の活用資源・ターゲットを踏まえ、JRと高速バスを組み合わせた旅行商品造成により鳥取を訪問する旅行者を出雲、尾道、しまなみ海道へ周遊させるなど、山陽と山陰を結ぶ広域周遊ルートの提案が必要である。

(3) 中国地域の観光イメージの形成について

○中国地方のコアイメージは「自然景観」

中国地方のイメージに関する自由記述では、自然が豊か、海がきれい、山がきれいといった自然景観のイメージが多く、関西圏から近い田舎、農山漁村といったイメージを形成している。今後の観光の主役を占める中高年齢層においては、「自然」の中での癒しやリラックスを求める志向が強いことから、例えば瀬戸内海でのクルージングや釣りの体験、三瓶山や大山でのトレッキング（エコツーリズム）のような自然体験型の観光サービスが、大都市圏からの旅行者にアピールすると思われる。

○好感される「山陰・山陽」のイメージを鮮明にしたPR

中国地方の親しみやすい呼び方として「中国地方」よりも「山陰・山陽」が多くの支持を得ている。周遊したいルートの自由記述をみても、「山陰」「山陽」それぞれの海岸線に沿って周遊する回答が多い傾向にあり、今後も「山陰・山陽」のイメージを鮮明にしていく中で、その組み合わせで情報発信していくことも有効と思われる。

○山陰の「食」のイメージ形成

中国地方の特産品の知名度を見ると、「もみじ饅頭」「牡蠣」「梨」「ふぐ」「もも」「きび団子」の順番となっており、広島県、鳥取県、山口県、岡山県それぞれの食べ物のイメージが表れている。島根県の「出雲そば」、「松葉ガニ」、「のどぐろ」等の一級の食資源について、さらなる情報発信が必要である。また、首都圏と比べて鳥取県の「梨」のイメージが中国地方のイメージとして挙げられたことは特徴的であり、関西圏から中国地方を見た場合に鳥取県がより身近に感じられていることから、鳥取県と島根県を合わせた山陰全体の食をPRしていくことが期待される。

(4) 受入環境の充実について

中国地方の満足度の理由として「自然景観」が挙げられ、観光施設、歴史・文化、雰囲気などの要素を含め中国地方の観光の魅力が形成されている一方、温泉、食事、宿泊施設、ガイドなどの満足度の評価は低くなっている。美作三湯、皆生温泉、玉造温泉など自家

用車によるアクセスが可能な温泉地についても「行ってみたい」というイメージ形成が図られておらず、良い口コミによるイメージ向上を図るためにも、温泉、食事、宿泊施設、ガイドなど、各地の受入環境の一層の充実が必要と思われる。